

ハタを伝えて、
子供たちと触れ合うのが楽しいです。

おおいし はつふじ
大石初藤 さん

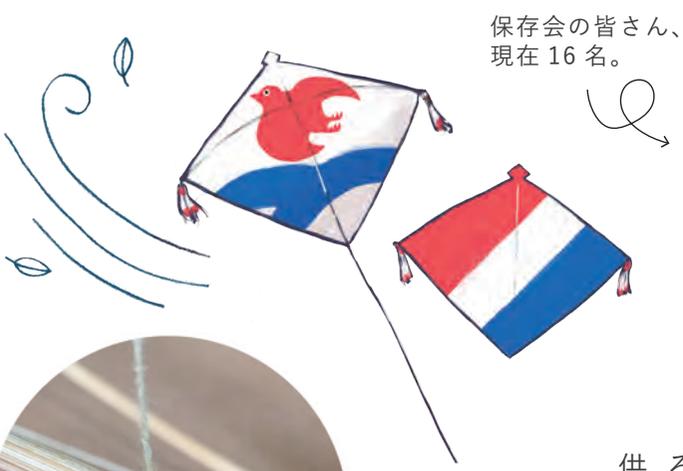
愛のまち剣舞箏保存会

ハタ作り体験できます。
詳しくはお問い合わせください。

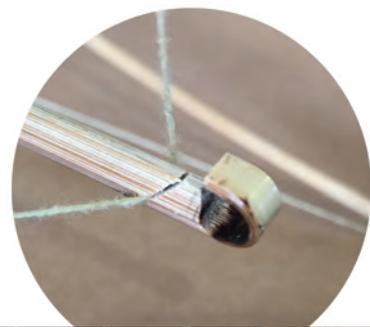


昔

はおじいちゃん
がハタ(凧)を作
つて孫と揚げる
姿がありました。それが
電線と受験勉強が邪魔を
してなくなって。これじゃ
いけないと、五十年前
に会を作りました。愛野
小学校で十八年間ハタ作
りの指導をしています。
子供たちが真剣に作るの
が励みになります。四月
第一土曜日には毎年ハタ
揚げ大会も。地元に伝わ
るハタあげの楽しさを子
供に感じてほしいです。



保存会の皆さん、
現在 16 名。



家でハタを飾るとき
吊り下げる為に、
竹の先端を半田ゴ
テで曲げる。



①



②

愛のまち剣舞箏保存会

●長崎県雲仙市愛野町平和甲

407-3 ●TEL 0957-36-0579

- ①「そこそこ、つまめ〜。つまんだか〜？真ん中か〜？そっちもってこい、そこあわせろ〜」大石さんの指導は孫に教えるようです。
- ②愛野小学校で、この日は6年生87人が参加。「おしえて〜！」と群がります。

島原半島北部愛野周辺にはハタの種類が多い。大石さんが持つのは剣舞箏(ケンボーソー)という江戸時代から伝わるハタ。「坂本龍馬が愛野に来て泊まったことがあるのを伝えたくて、龍馬を描きました。」

